

令和6年度当初予算

支出科目	款：農林水産業費	項：農業費	目：農業総務費
担当課	販売・連携推進課		
事業名	おいしい！広島推進事業（一部国庫）【新規】		

目的

広島サミットで高まった広島のプレゼンスを追い風として、本県の豊かな自然環境に育まれた多彩な食資産を活かし、瀬戸内の四季との相乗効果で、その価値・魅力をさらに高め、県内外から広く共感を獲得することで、広島のおいしいイメージを醸成し、ひろしまブランドの強化を図る。

事業説明

対象者

料理人（飲食店）、農林漁業者、国内外の消費者 等

事業内容

		(単位：千円)
内 容		今回予算額
県内における価値向上と県民との共創	<ul style="list-style-type: none"> ○食材や料理の価値・魅力を伝えることができる料理人等の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・料理人に広島の優れた食材や酒の魅力を再認識してもらうため、料理人と生産者との交流を行う研鑽会や有名シェフから学ぶ研修会等の実施 ・実際の店舗において、料理人や店員、POP等を通じて、食材や料理の魅力をストーリーとともに提供する取組を支援 ○県民とのおいしい広島の共創 <ul style="list-style-type: none"> ・研鑽会やストーリー構築・実証店舗における取組について、「おいしい！広島」特設サイトやSNSを通じた情報発信やキャンペーン等を開催 	30,000
県外における広島の食の理解と共感の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ○首都圏における広島の食の魅力浸透 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等において、県内の料理人による食イベントを開催し、発信力のあるインフルエンサーや評論家等によるSNSを通じた情報発信等を実施 ○海外への情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・HIT（一般社団法人広島県観光連盟）等と連携し、SNS等による情報発信を実施 	70,000
合 計		100,000

成果目標

- 事業目標：①県民のおいしい共感度 (R5実績) 22.8% (R6目標) 23.0% (R8目標) 30.0%
- ②首都圏のおいしい共感度 (R5実績) 59.6% (R6目標) 60.0% (R8目標) 63.0%

※県の独自調査における質問項目「美味しさの宝庫である」において、
 ①「非常にそう思う」と回答した県民の割合
 ②「非常にそう思う」もしくは「ややそう思う」と回答した首都圏在住者の割合

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	100,000	47,399	0	0	0	0	287	0	52,314
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金 (47,399千円)

令和6年度当初予算

支出科目	款：農林水産業費	項：畜産業費	目：畜産振興費
担当課	畜産課		
事業名	広島和牛ブランド構築事業（一部国庫）		

目的

広島和牛を食べる場の創出や、味の特長の調査など、本県の独自性等を活かした付加価値向上に取り組むことにより、広島和牛の「ひろしま」ブランドとしての強化を図る。

事業説明

対象者

畜産経営体、飲食店 等

事業内容

(単位：千円)

内 容		今回予算額
広島和牛ブランド構築事業	<ul style="list-style-type: none"> ○食べる場づくり・流通の円滑化 <ul style="list-style-type: none"> ・取扱店舗の拡大に向け、県内高級飲食店における定期提供（6店舗程度/回、年2回）を実施 ・全ての部位が有効活用されるよう、瞬間冷凍技術などの長期保存技術の活用や料理人等と連携した加工品開発等を支援 ○広島和牛の魅力を訴求するための飼養管理方法の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度までの結果を踏まえ、おいしさに関わる成分を高めるための調査・開発を実施 ○広島和牛の認知向上に向けたPR <ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体を活用した継続的な情報発信や、県内を中心とした観光業と連携したイベントを実施 	43,585

成果目標

- 事業目標 : 新規提供店舗数（累計）（R4実績）17店舗（R6目標）30店舗
- ワーク : 63 持続可能な広島和牛生産体制の構築
- ワーク目標 : 肥育経営における比婆牛飼養頭数（R4実績）408頭（R6目標）720頭（R7目標）800頭

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	43,585	6,033	0	0	0	0	0	0	37,552
前年度当初予算額	38,324	7,946	0	0	0	0	0	0	30,378

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金（6,033千円）

令和6年度当初予算

支出科目	款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費
担当課	水産課
事業名	瀬戸内さかなブランド化推進事業（一部国庫）

目的


瀬戸内の魚が持つ強みや特長を生かした広島県のブランド化の取組を推進し、認知・評価を高め、消費拡大につなげることにより、漁業経営の収益性向上を図るとともに、持続的な沿岸漁業の構築を目指す。

事業説明

対象者

県内漁業者、市場流通関係者、飲食店 等

事業内容

		(単位：千円)
内 容		今回予算額
瀬戸内さかなブランド化推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食店における営業実証 <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節ごとの瀬戸内さかなを満喫できるコース料理等を開発・提供する店舗の拡大 ・ 調達から料理提供までの流通課題を解決するための支援 ○ 瀬戸内さかなの魅力を生かした商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業実証に参加した飲食店における食体験など、瀬戸内さかなの魅力に触れる広島周遊モデルの企画、試行 ○ 瀬戸内さかなのブランド化に向けた情報発信及び連携体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客視点に立った魅力ある情報発信の実施 ・ 広島の水産関係者と流通、飲食等関係者との連携体制強化 <p>※ 瀬戸内さかな：瀬戸内海で獲れる多様な魚介類を表す総称として令和5年4月にネーミング</p>	20,000

成果目標

- 事業目標：取組参加店舗数（累計）（R4実績）12店 （R6目標）30店
- ワーク：67 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築
- ワーク目標：ICT漁獲技術導入地区数（累計）（R4実績）0地区 （R6目標）4地区 （R7目標）6地区

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	20,000	4,500	0	0	0	0	0	0	15,500
前年度当初予算額	18,000	7,500	0	0	0	0	0	0	10,500

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金（4,500千円）

令和6年度当初予算

支出科目	款：農林水産業費 項：農業費 目：農業経営強化対策費
担当課	農業経営発展課
事業名	経営力向上支援事業（一部国庫）【一部新規】

目的

経営力の高い担い手が生産の大部分を占める力強い生産構造への転換を目指し、経営発展意欲が高い担い手に対し、企業経営への転換に向けた支援に取り組む。

事業説明

対象者

経営発展及び企業経営を目指す経営体

事業内容

		(単位：千円)
内 容		今回予算額
企業経営化支援	○企業経営実践支援 ・人材育成、予算・実績管理など担い手の重点課題の解決に向け、専門家等を派遣	41,796
	○先進経営体研修 ・企業等が実践しているマネジメント手法を学ぶ研修を実施	8,229
雇用型経営支援【新規】	○雇用型経営発展支援 ・雇用型経営に向けた経営計画のブラッシュアップ及び実行のための伴走支援を実施	8,900
	○経営体の雇用確保支援 ・雇用就農の定着率を向上させるための「お試し雇用」を支援	22,528
ひろしま農業経営者学校	○経営者意識の醸成、経営スキルの向上 ・経営ビジョンの策定や、経営の発展段階に応じた経営・雇用管理の知識を習得する講座を実施	22,573
経営データの一元管理	○電子カルテシステムの運用 ・経営体への効果的な支援内容の決定等のため、経営課題の見える化等を可能にする電子カルテシステムを運用・改善	2,299
合 計		106,325

成果目標

- 事業目標 : 企業経営を実践するための仕組みが導入された経営体数
 (R4実績) 9経営体/年 (R6目標) 5経営体/年
 雇用型経営に向けた計画を作成し実行している経営体数
 (R4実績) - (R6目標) 8経営体/年
 雇用就農マッチング促進事業により雇用した経営体数
 (R4実績) - (R6目標) 20経営体/年
- ワーク : 58 地域の核となる企業経営体の育成
- ワーク目標 : 企業経営体数 (R4実績) 29経営体 (R6目標) 41経営体 (R7目標) 54経営体

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	106,325	26,791	0	0	0	0	614	0	78,920
前年度当初予算額	89,126	15,000	0	0	0	0	514	0	73,612

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金(11,264千円)

令和6年度当初予算

支出科目	款：農林水産業費	項：水産業費	目：水産業振興費
担当課	水産課		
事業名	夏かき産地育成事業（単県）		

目的

これまでシーズンオフだった夏場に広島かきを出荷できる産地を育成するため、県東部地区において、出荷前に殻付きかきの身入りを評価できる技術の実装に取り組むことにより、夏かきの高付加価値化による収益性向上を図るとともに、生産規模の拡大を推進する。

事業説明

対象者

県東部地区の夏かき生産者

事業内容

		(単位：千円)
内 容		今回予算額
夏かき産地育成事業	○夏かきの品質向上に向けた取組 ・県立総合技術研究所水産海洋技術センターで開発された、殻付きかきの身入りが出荷前に評価できる非破壊品質評価技術の実装に向け、現地実証を実施	10,233

成果目標

- 事業目標 : かき筏台数 (R4実績) 10台 (R6目標) 16台
- ワーク : 66 海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築
- ワーク目標 : 東部海域の生食用殻付きかき生産量 (R4実績) 23トン (R6目標) 49トン (R7目標) 80トン

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	10,233	0	0	0	0	0	0	0	10,233
前年度当初予算額	10,233	2,250	0	0	0	0	0	0	7,983

令和6年度当初予算

支出科目	款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費
担当課	森林保全課、林業課
事業名	ひろしまの森づくり事業（単県）

目的

県民共有の財産である森林を県民全体で守り育てる事業を推進することにより、県民全体が享受している県土の保全や水源かん養などの公益的機能の持続的な発揮を図る。

事業説明

対象者

市町、森林所有者、住民団体、森林ボランティア団体、企業 等

事業内容

2～4は【ひろしまの森づくり基金充当】 (単位：千円)

内 容		今回予算額
1 基金積立	○ひろしまの森づくり基金への積立	885,023
2 県補助金事業	○放置された人工林のうち、県民生活への影響が大きい森林の間伐 ○木造建築物における県産材の利用拡大 等	425,388
3 交付金事業	○里山林における環境改善・防災・鳥獣害対策等を目的とした森林整備 ○森林・林業体験活動、木育活動 ○森林保全活動団体、地域住民団体の育成 等	340,000
	〈特認事業枠〉市町等が特に提案して実施する場合の特別枠 ○住民団体による自主的・継続的な森林保全活動 ○市町域を超えた広域的な森林・林業体験活動 ○里山林の課題解決を推進するため市町が作成する整備方針に基づき行う整備	170,000
4 県実施事業	○税の趣旨や事業内容に対する県民理解の促進、森づくり活動に関心を高めるための広報 等	20,729
合 計		1,841,140

成果目標

- 事業目標 : 手入れ不足の人工林の間伐面積 (R4実績) 562ha/年 (R6目標) 760ha/年
 里山林を活用しながら管理する団体数 (R4実績) 93団体 (R6目標) 102団体
 木造建築物における県産材利用量 (住宅、住宅以外の建築物) (R4実績) 7.7万㎡ (R6目標) 8.0万㎡
- ワーク : 65 森林資源利用フローの推進
- ワーク目標 : 安定供給協定による取引量 (R4実績) 19.1万㎡ (R6目標) 20.0万㎡ (R7目標) 20.5万㎡
 建築物等の県産材利用量 (R4実績) 8.1万㎡ (R6目標) 8.5万㎡ (R7目標) 8.8万㎡

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	1,841,140	0	0	0	23	955,810	307	0	885,000
前年度当初予算額	1,890,305	0	0	0	8	1,008,039	258	0	882,000

令和5年度2月補正

支出科目	款：農林水産業費	項：農業費	目：農業総務費
担当課	販売・連携推進課		
事業名	輸出促進施設等整備支援事業（一部国庫）		

目的

輸出先国の規制や輸出先のニーズに対応するための施設や機器の整備等を支援することにより、県内食品事業者等による輸出の維持・拡大を図る。

事業説明

対象者

県内食品事業者

事業内容

(単位：千円)

内 容		今回予算額
輸出促進施設等整備支援事業	○輸出を行う県内食品事業者に対する支援 ・輸出先が求める衛生基準に対応するために必要な施設や機器の整備 ・食品安全に関する国際規格の認証に係る審査等 【補助率】1/2以内	14,848

成果目標

- 事業目標：輸出ニーズに応じた施設等の整備数 (R4実績) 1件 (R6目標) 1件
- ワーク：58 地域の核となる企業経営体の育成
- ワーク目標：企業経営体数 (R4実績) 29経営体 (R6目標) 41経営体 (R7目標) 54経営体

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	14,848	14,833	0	0	0	0	0	0	15
現計予算額	315,650	315,643	0	0	0	0	0	0	7

令和6年度当初予算・令和5年度2月補正

支出科目	款：農林水産業費	項：林業費	目：森林整備費
担当課	林業課		
事業名	林業・木材産業等競争力強化対策事業（一部国庫）		

目的

県産材の安定的・効率的な供給体制の構築に向け、川上から川下までの総合的な取組を行うことにより、林業・木材産業の成長産業化を実現する。

事業説明

対象者

市町、林業経営体、木材関連事業者等

事業内容

(単位：千円)

内 容	今回予算額	
	令和5年度 2月補正予算	令和6年度 当初予算
林業生産基盤強化対策 ○県産材の安定供給のための搬出間伐、路網整備、高性能林業機械の導入、採種園の整備を支援 【補助率】定額、1/3以内 【実施主体】市町、林業経営体	124,106	20,643
木材産業生産基盤強化対策 ○県産材の利用拡大に向けた加工流通施設の整備を支援 【補助率】1/2以内 【実施主体】木材関連事業者	155,965	—
合 計	280,071	20,643

成果目標

- 事業目標 : 主伐及び間伐の生産性 (R4実績) 8.9m³/人日 (R6目標) 8.8m³/人日
木造建築物における県産材利用量 (住宅、住宅以外の建築物)
(R4実績) 7.7万m³ (R6目標) 8.0万m³
- ワーク : 64 森林資源経営サイクルの構築
65 森林資源利用フローの推進
- ワーク目標 : 経営力の高い林業経営体数 (R4実績) 9社 (R6目標) 13社 (R7目標) 15社
安定供給協定による取引量 (R4実績) 19.1万m³ (R6目標) 20.0万m³ (R7目標) 20.5万m³
建築物等の県産材利用量 (R4実績) 8.1万m³ (R6目標) 8.5万m³ (R7目標) 8.8万m³

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回 予算額	20,643	20,471	0	0	0	0	0	0	172
令和5年度 2月補正 予算額	280,071	279,971	0	0	0	0	0	0	100
令和5年度 当初 予算額	30,758	30,511	0	0	0	0	0	0	247

公 共 事 業

(令和6年度当初予算・令和5年度補正予算)

農 林 水 産 局

I 基本的な考え方

令和3年7月・8月豪雨災害等からの早期の復旧・復興に全力で取り組む。

また、「2025広島県農林水産業アクションプログラム」に基づき、生産性の高い持続可能な農林水産業の確立に向け、人口減少や物価高騰などの社会経済情勢の変化も踏まえた基盤整備を実施するとともに、ため池の総合対策や山地災害防止対策などの防災・減災に向けた取組を着実に推進する。

II 公共事業予算概要

① 通常分

「2025広島県農林水産業アクションプログラム」を着実に推進するため、国の概算決定の状況を踏まえ、所要額を計上する。

② 復旧・復興分（並びに災害復旧事業）

令和3年7月・8月豪雨災害等に伴う農地・農業用施設、林道の復旧等について、所要額を計上する。

【通常分の施策領域と取組内容】

施策領域	取組内容
農林水産業	<ul style="list-style-type: none">・担い手への農地集積と基盤整備・中山間地域農業の活性化・森林資源経営サイクルの構築・瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築
防災・減災	<ul style="list-style-type: none">・ため池などの農地・農業用施設の防災力の強化・山地災害防止に向けた取組
中山間地域	<ul style="list-style-type: none">・中山間地域農業の活性化〔再掲〕

Ⅲ 予算規模

1 総括表

【一般公共事業（補助公共事業・国直轄事業負担金・単独公共事業）】（単位：百万円、％）

区分	R 5 年度 予算額	R 4 年度 補正予算額 (国補正分)	R 5 年度 当初予算額	R 6 年度 予算額	R 5 年度 補正予算額 (※ 4) (国補正分)	R 6 年度 当初予算額	前年度 予算比	
	A	B	C	D	E	F	D/A	
① 通常分	補助公共事業	11,430	1,823	9,607	12,859	2,382	10,477	112.5%
	単独公共事業	1,644	0	1,644	1,870	0	1,870	113.8%
	小計	13,074	1,823	11,251	14,729	2,382	12,347	112.7%
② 復旧・復興分	補助公共事業	1,320	693	627	0	0	0	皆減
	国直轄事業負担金	441	0	441	461	0	461	104.5%
	小計	1,761	693	1,068	461	0	461	26.2%
一般公共事業 計	14,834	2,516	12,318	15,190	2,382	12,808	102.4%	

【災害復旧事業】

現年発生災害復旧事業 (※ 1)	2,150	0	2,150	2,150	0	2,150	100.0%
過年発生災害復旧事業 (※ 2)	2,315	0	2,315	2,288	0	2,288	98.8%
小計	4,465	0	4,465	4,438	0	4,438	99.4%

【総合計】

総合計	19,299	2,516	16,783	19,628	2,382	17,246	101.7%
------------	---------------	--------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------

- ※ 1) 令和 6 年度に災害が発生した場合の備え
 ※ 2) 過去に発生した災害からの復旧に要する費用
 ※ 3) 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。
 ※ 4) 令和 5 年度 12 月補正予算額（2 月補正による国の内示整理を含む）

令和 6 年度予算額（当初予算額＋国補正対応分）は

① 通常分	147億2千万円余	(前年度予算比 112.7%)
② 復旧・復興分	4億6千万円余	(前年度予算比 26.2%)
災害復旧事業を除く一般公共事業 (①+②)	151億9千万円余	(前年度予算比 102.4%)
総合計（一般公共事業＋災害復旧事業）	196億2千万円余	(前年度予算比 101.7%)

2 事業別の状況

(1) 補助公共事業

令和6年度当初予算額は 104億7千万円余
 令和5年度国補正対応分 23億8千万円余と合わせると、
令和6年度予算額の合計 128億5千万円余（前年度予算比 100.9%）
 （うち通常分の前年度予算比 112.5%）

（単位：百万円、%）

区分	R5年度 予算額	R4年度 補正予算額 (国補正分)	R5年度 当初予算額	R6年度 予算額	R5年度 補正予算額 (※3) (国補正分)	R6年度 当初予算額	前年度 予算比 D/A
	A	B	C	D	E	F	
農業農村整備事業	7,483	1,564	5,919	7,928	1,827	6,101	105.9%
漁場事業	226	0	226	254	0	254	112.4%
治山事業	3,152	693	2,459	2,453	208	2,246	77.8%
（うち通常分）	(1,832)	(0)	(1,832)	(2,453)	(208)	(2,246)	(133.9%)
林道事業	1,010	12	999	1,368	0	1,368	135.4%
造林事業	878	247	631	855	347	508	97.4%
合計	12,749	2,516	10,233	12,859	2,382	10,477	100.9%
（うち通常分）	(11,430)	(1,823)	(9,607)	(12,859)	(2,382)	(10,477)	(112.5%)

※1) 治山事業以外はすべて通常分

※2) 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。

※3) 令和5年度12月補正予算額（2月補正による国の内示整理を含む）

(2) 国直轄事業負担金

令和6年度当初予算額 4億6千万円余（前年度予算比 104.5%）

（単位：百万円、%）

区分	R5年度 当初予算額 A	R6年度 当初予算額 B	前年度 予算比 B/A
治山事業	441	461	104.5%

(3) 単独公共事業

令和6年度当初予算額の合計 18億7千万円余（前年度予算比 113.8%）

（単位：百万円、%）

区分	R5年度 当初予算額 A	R6年度 当初予算額 B	前年度 予算比 B/A
農業農村整備事業	635	835	131.5%
漁場事業	3	38	1266.7%
治山事業	325	325	100.0%
林道事業	46	46	100.0%
その他 〔栽培漁業センター長寿命化対策事業 緑化センター長寿命化対策事業〕	210	182	86.8%
単独建設事業 計	1,219	1,426	117.0%
維持修繕事業	426	444	104.4%
合計	1,644	1,870	113.8%

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。

IV 主な事業概要

① 復旧・復興分

国直轄事業負担金

- 平成30年7月豪雨災害に伴う山地災害対策

(単位：百万円)

事業名	R5当初	R6当初	R6事業概要
直轄治山事業費負担金	441	461	国が実施する治山施設整備の負担金を拠出

災害復旧事業

- 令和3年7月・8月豪雨災害等に伴う災害復旧

(単位：百万円)

事業名	R5当初	R6当初	R6事業概要
過年発生災害復旧事業	2,315	2,288	被災した農地・農業用施設、林道を復旧

② 通常分

補助公共事業

- 防災・減災に資する、ため池のハード・ソフト対策

(単位：百万円)

事業名	R5当初 (R4.2補正)	R6当初 (R5.12補正)	R6事業概要
ため池等整備事業 (補強工事)	857 (189) (※1)	1,023 (251) (※1)	防災重点農業用ため池の補強工事を実施
ため池等整備事業 (廃止工事)	335	344	防災重点農業用ため池の廃止工事を実施
ため池等整備事業 (適正管理支援)	32	42	広島県ため池支援センターが実施する、防災重点農業用ため池等の管理者に対する適正管理の指導や、ため池の状態の監視等を支援

※1) カッコ内は国補正分で外教 (R5.12補正は2月補正による国の内示整理を含む)

- 防災・減災に資する、山地災害対策

(単位：百万円)

事業名	R5当初	R6当初 (R5.12補正)	R6事業概要
治山事業	1,832	2,246 (208) (※1)	治山施設の整備等

※1) カッコ内は国補正分で外教

○ 経営体の生産性向上に資する、スマート農業の導入等に適した基盤整備

(単位：百万円)

事業名	R5当初 (R4.2補正)	R6当初 (R5.12補正)	R6事業概要
ほ場整備事業	1,313 (415) (※1)	1,189 (1,079) (※1)	鍋石地区(安芸高田市)など15地区で、区画整理や暗渠排水工事等を実施

※1) カッコ内は国補正分で外数 (R5.12補正は2月補正による国の内示整理を含む)

○ 木材生産等の低コスト化と木材安定供給のための間伐・路網の整備

(単位：百万円)

事業名	R5当初 (R4.2補正)	R6当初 (R5.12補正)	R6事業概要
森林整備事業 (林道比和・新庄線 トンネル開設工事)	0	525	年間40万m ³ の県産材が安定的に生産される持続的な林業経営の実現に向けて、間伐や路網を整備
森林整備事業 (林道(その他) ・造林)	1,629 (259) (※1)	1,351 (347) (※1)	

※1) カッコ内は国補正分で外数 (R5.12補正は2月補正による国の内示整理を含む)

単独公共事業

○ 防災・減災に資する、ため池・治山施設等のハード・ソフト対策

(単位：百万円)

事業名	R5当初	R6当初	R6事業概要
ため池整備事業	480	690	防災重点農業用ため池等の補強工事等を実施
小規模崩壊地復旧事業	325	325	市町要望に基づき、治山施設を整備
治山施設機能強化事業	255	255	治山施設の管理・維持補修を実施

○ 公共施設の適正管理

(単位：百万円)

事業名	R5当初	R6当初	R6事業概要
栽培漁業センター長寿 命化対策事業	102	81	施設の長寿命化に向けた種苗生産設備の修繕工事等を実施
緑化センター長寿命化 対策事業	108	101	施設の長寿命化に向けた外壁の修復及び屋上の防水工事等を実施

VI 令和6年度当初予算・令和5年度補正予算の主な箇所の概要

1 農林水産業

(1) 担い手への農地集積と基盤整備

ア 県営ほ場整備事業[農業農村]

区 分	事 業 概 要
鍋石地区 (安芸高田市)	<全体計画> 事業内容：区画整理 34.3 h a 事業期間：平成 29 年度～令和 8 年度 成果目標：スマート農業の導入や農地集積等による生産性の向上 <令和6年度の事業概要> 事業内容：区画整理工 7.0 h a

イ 県営ほ場整備事業[農業農村]

区 分	事 業 概 要
西大田地区 (世羅町)	<全体計画> 事業内容：区画整理 43.0 h a 事業期間：令和 2 年度～令和 7 年度 成果目標：スマート農業の導入や農地集積等による生産性の向上 <令和6年度の事業概要> 事業内容：区画整理工 12.3 h a

(2) 中山間地域農業の活性化

ア 広域営農団地農道整備事業[農業農村]

区 分	事 業 概 要
芸北3期地区 (北広島町)	<全体計画> 事業内容：道路工 L=4,300m 事業期間：平成 21 年度～令和 7 年度 成果目標：生産地と輸送拠点等との連結による物流の効率化 <令和6年度の事業概要> 事業内容：トンネル照明・非常用設備工事

イ 基幹農道整備事業[農業農村]

区 分	事 業 概 要
安芸灘 3 期地区 (呉 市)	<p><全体計画> 事業内容：耐震補強・補修 2 橋（蒲刈大橋、豊浜大橋） 事業期間：令和 4 年度～令和 8 年度 成果目標：既存渡海橋の耐震補強・補修による農産物の安定的な輸送機能の維持</p> <p><令和 6 年度の事業概要> 事業内容：耐震補強 1 橋（蒲刈大橋）</p>

(3) 森林資源経営サイクルの構築

ア 幹線林道整備事業[林道]

区 分	事 業 概 要
茂 田 工 区 〔 比和・新庄線 〕 (君田・布野区間) (三 次 市)	<p><全体計画> 事業内容：道路工 L=5,443m 事業期間：平成 24 年度～令和 8 年度 成果目標：木材搬出量の増、木材市場等へのアクセス向上</p> <p><令和 6 年度の事業概要> 事業内容：トンネル開設工事 L=509m</p>

(4) 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築

ア 漁場環境保全創造事業[漁場]

区 分	事 業 概 要
中西部・備後 <small>ひうち</small> 地区 (江田島市・三原市)	<p><全体計画> 事業内容：増殖場（藻場造成） A=14.0 h a 事業期間：令和 4 年度～令和 8 年度 成果目標：藻場造成による水産資源の増大 藻場干潟等による漁場環境保全機能の維持</p> <p><令和 6 年度の事業概要> 事業内容：増殖場（藻場造成） A=1.6 h a （江田島市） 増殖場（藻場造成） A=1.2 h a （三原市）</p>

2 防災・減災

(1) ため池などの農地・農業用施設の防災力の強化

ア 県営ため池等整備事業[農業農村]

区 分	事 業 概 要
た め 池 詳 細 診 断	<p><全体計画> 事業内容：ため池の豪雨・耐震診断等の実施 事業期間：平成 25 年度～平成 30 年度、令和 3 年度～ 成果目標：ため池下流住民の安全安心の確保、農業用水の安定的供給</p> <p><令和 6 年度の事業概要> 事業内容：地震時における堤体の安定性の評価</p>

イ 県営ため池等整備事業[農業農村]

区 分	事 業 概 要
堂 迫 池 地 区 (庄 原 市)	<p><全体計画> 事業内容：堤体の改修 事業期間：令和 2 年度～令和 7 年度 成果目標：ため池下流住民の安全安心の確保、農業用水の安定的供給</p> <p><令和 6 年度の事業概要> 事業内容：堤体の改修</p>

ウ 県営ため池等整備事業[農業農村]

区 分	事 業 概 要
広 島 県 た め 池 支 援 セ ン タ ー の 運 営	<p><全体計画> 事業内容：防災重点農業用ため池（6,799 箇所）等の適正な 管理体制の構築 設置時期：令和 3 年度 成果目標：ため池下流住民の安全安心の確保、農業用水の安定的供給</p> <p><令和 6 年度の事業概要> 事業内容：防災重点農業用ため池の経過観察（パトロール） ため池の管理者に対する適正管理のための指導等</p>

(2) 山地災害防止に向けた取組

ア 山地治山事業[治山]

区 分	事 業 概 要
小 畑 地 区 (東 広 島 市)	<p><全体計画> 事業内容：溪間工 2 基 事業期間：令和 5 年度～令和 6 年度 成果目標：下流保全対象の安全確保（人家 10 戸、市道）</p> <p><令和 6 年度の事業概要> 事業内容：溪間工 1 基</p>